

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和1年6月25日から令和1年11月29日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B15021 B18055	

### 2 福祉サービス事業者情報（令和1年9月現在）

事業所名： （施設名）長野市山王保育園	種別：保育所	
代表者氏名：市長 加藤 久雄 （管理者氏名）保育・幼稚園課次長 広田 貴代美	定員（利用人数）：125（107）名	
設置主体：長野市 経営主体：長野市	開設（指定）年月日： 昭和23年8月1日	
所在地：〒380-0826 長野市大字南長野北石堂町1024番地2		
電話番号： 026-226-7670	FAX番号： 026-226-7670	
ホームページアドレス： <a href="http://www.city.nagano.nagano.jp">http://www.city.nagano.nagano.jp</a>		
職員数	常勤職員：32名 非常勤職員 15名	
専門職員	（専門職の名称）	
	園長 1名	保育士 15名
	保育主任 1名	
	保育士 21名	
	子育て支援員 2名	
	調理員 4名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（屋外遊具）
	乳児室 1室	ジャングルジム
	ほふく室 2室	登り棒
	保育室 5室	
	遊戯室 1室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	
	便所 6室	

### 3 理念・基本方針

#### 【保育理念】

こどもの健やかな心身の発達を図り、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。  
○児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもを保育することを目的とする。

○子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。

【基本方針】

- 安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を十分発揮できるようにする。
- 専門の資格を持った職員が養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助する。
- 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをする。
- 家庭と連携を図りながら、子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、地域における子育て支援の拠点として、社会的役割を果たす。
- 保育を実践するにあたっては、「全体の計画」に基づき、一貫性を持って子どもの実態に応じた柔軟な保育を展開する。

【保育園目標】

～笑顔いっぱい 元気いっぱい～

- ・自然に触れ遊ぼう
- ・自分で考え行動しよう
- ・おいしく食べよう

#### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

山王保育園は、長野駅から徒歩10分の長野市中心部にある。周りには県庁、JA長野県ビルなどの高層ビルが立ち並び、交通量の多い場所にある。市街地に位置しながらも、保育園の横を流れる用水では、沢蟹を見つけることができる。また、西方に位置する安諸地籍に水道山があり、歩いて30分の散歩コースとなっており、夏目ヶ原親水公園、若里公園、裾花緑地などへ散歩に出かけ、多くの自然に触れることができる。自然に触れて遊ぶことを目的に平成29年度、長野県の信州型自然保育（信州やまほいく）の認定を受けている。また地域子育て支援センターを併設し、時間外保育、一時預かり、障がい児保育を実施している。休日・祝日の保育は行っていない。また、体験等を希望する学生の保育体験を積極的に行っている。長野駅に近い市街地であり、交通量の多い場所にあるが、周辺の商店街に出かけて、季節の雰囲気も味わうことができる。また、県庁、市役所、駅前交番、消防署に出かけ、いろいろな職業の人と触れ合ったり、様々な体験ができ市街地ならではのイベントを体験する機会が多い特色がある。保育するにあたり、保育所保育指針及び長野市乳幼児の教育・保育の指針「かがやく笑顔で げんきに遊ぶしなのキッズ」に基づき保育を実施している。

#### 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

#### 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①街中の自然を取り入れた「信州やまほいく」の取り組み

「信州やまほいく」は幼児期の子どもを対象に、屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、知力と体力も同時に高めることができる新しいスタイルの保育・幼児教育で多様な自然や地域の環境を生かした活動を通じて、子どもたちの知的好奇心や感性が豊かに育まれ、さらに異年齢の集団活動の中でコミュニケーションや社会性、自尊心や自己肯定感の向上が期待できる保育として長野県が推奨している。

山王保育園では平成29年度に認定を受けている。園の隣には用水が流れており、

沢蟹を見つけることができる。水に触れる体験もでき貴重な野外保育の場となっている。用水では子どもと一緒に保育士も楽しみ、安全に配慮した保育が行われていた。善光寺の門前として寺社が身近にあり街中ではあるが近くに学校や公園がたくさんある環境を生かし、散歩に出かけ自然に触れて楽しんでいる。園目標では「自然に触れて遊ぼう」や事業計画では「自然を生かした保育を行う」としている。山王保育園では街中ならではの散歩で交通ルールを学び道路の歩き方の習得に役立っている。このような体験も活かし「信州やまほいく」に積極的に取り組んでいる

## ②地域の保育の拠点として子育て支援の積極的な取り組み

山王保育園は、地域で大きな保育園となっており利用人数や職員数が多く、7時半から19時まで時間外保育、一時保育、障害児保育等幅広い保育サービスを提供している。また地域子育て支援センターを併設し未就園児とその保護者を対象に開放されている。支援センターは主に就園前のお子さんとその保護者が気軽に遊び、交流したり、子育ての情報交換をしたりできる施設で支援員等が子育てに関する相談にのるほか、「遊びの広場」「土曜ふれあい広場」「出前広場」などを行っている。保護者の様々な子育てや悩みの相談に応じており核家族が進む中で相談できる心強い存在になっている。保育園と同じ建物の中にあるので保育の様子も近くで見学できる点が良い。職員体制も保育主任1名、子育て支援員2名、看護師3名と充実している。地域の拠点としての役割を担い子育て支援に積極的に取り組んでいる点が長所として評価できる。

## ③働きやすい環境を整備と保護者の満足度

園長・保育主任は職員の勤務時間の管理や年次休暇を把握しており、保育士が休暇を取りやすいように代替えの保育士を確保している。また、タイムレコーダーの導入、行事準備を時間内にできるようにする事や職員の健康診断やストレスチェックにより職員の悩みや相談しやすい工夫がされている。年1回の園長面談により相談しやすい時間を設けている。また労働安全衛生委員会で安全衛生年間計画をたてワークライフバランスに配慮した取り組みを行っている。働きやすい環境を整備することで保護者からは「先生方には本当によくやっています。子どもたちへの接し方、親の対応、勉強させてもらっています。子どもを安心してお願いしています。」等の良い意見が寄せられている。

## ◇特に改善する必要があると思う点

### ①子どもが心地よく過ごすことができる環境の整備

山王保育園は他の保育と比較して歴史があり、建物は建築されてから年数経過している。保育園のトイレ、手洗い場については外気が直接入り込む構造になっている。手洗い場は外にあり水道と温水が併設されておらず、冬場は温水で手を温めてから手洗いをする状態である。保護者アンケートからは改善を望む要望が出されている。温水の利用については中長期の施設の改修の中で優先的に取り組み、子どもが心地よく過ごすことができる環境の整備がされることを期待する。

### ②園児が散歩で利用する道路の安全強化

山王保育園は長野市の中心市街地に位置し、交通量も多い地域に立地している。また「信州やまほいく」の認定を受け、園外の近隣の公園へ散歩に出かけている。平成31年5月に大津市で散歩中の大勢の園児が死傷する事故が発生した。山王保育園では、これら散歩コースの危険調べを実施し、危険個所を洗い出し安全な散歩が

できるように取り組んでおり、保育士に周知されている。また、お散歩カードを作成し、危険個所の洗い出しと共通認識を図っている。大津市では事故後「キッズゾーン」の設置を全国に先駆けて設置する事例が報告されている。子どもの安心と安全を脅かす事例の取集や危険個所の見直しを積極的に行い、園児の散歩コースについては、道路の速度を制限する「ゾーン30」の指定やその道路を通行する運転手等には速度制限について明示する路面標示を増やしたり、また「スクールゾーン」に準じ、時間帯を限定し歩行者の専用道路にしたりなどの「キッズゾーン」の設置、道路の塗装、速度制限、横断歩道、ガードレールや反射鏡の設置など園児が利用する道路の安全について自治体、地域住民、警察、道路管理者が園児の安全のため積極的に取り組むよう働きかけることを期待する。

### ③外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実

利用者アンケートでは「外部からの侵入に対する安全な対策がとられていますか」の質問では「はい」が35%、「どちらともいえない」が42%、「いいえ」が21%、「わからない」が2%となっており、保護者からは防犯体制についての希望や要望が多く更なる安全対策の期待が高い。山王保育園では不審者の対応を警察官とスクールサポーターに指導を受けながら取り組んでいる。また不審者に対するマニュアルも整備され訓練も実施されている。道路側の入り口は通園時を除き施錠されているが事務室入り口の施錠はされていないことなどの保護者の関心は高い。保護者の不安の感じている点を丁寧に聴き不審者訓練の様子や鍵などの安全対策について改善している点を保護者や地域に安心・安全の情報を更に密にして提供をすることを期待する。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

## 8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和元年11月28日記載）

第三者評価受審に向け、全職員で教育・保育の振り返り、保育室、園庭等園内外の環境整備、各種マニュアルの確認を園内研修で行った。また、長野市の保育理念、基本方針を基に園目標や計画に添った保育がされているか研修を行うことで共通理解することができ園全体の教育・保育の向上につながる良い機会となった。

良い評価をいただいた点「街中の自然を取り入れた『信州やまほいく』の取り組み」「地域の保育の拠点として子育て支援の積極的な取り組み」「働きやすい環境の整備と保護者の満足度」については更に努力し継続していきたい。

改善する必要がある点「子どもが心地よく過ごすことができる環境の整備」「園児が散歩で利用する道路の安全強化」「外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実」については、人的環境の部分は、職員間で話し合いをし、園内研修を行い改善していきたい。物的環境については、自園で解決できない点は関係部署と相談し指導を受けながら早急に取り組んでいきたい。

保護者アンケートでは、忙しい中ご協力いただき、改善を望むご意見や、温かい言葉をいただいた。また、環境・福祉事業評価センターの皆様には、自園の良い点、改善点をご意見いただき、今後も全職員で子ども達が安全で安心できる教育・保育を目指し努力していきたい。